

T-fal

ティファール

スチームジェネレーター イーゼープレッシング(製品番号 GV5240J0)



このたびは、ティファール スチームジェネレーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。

※ご使用の際、スチームからゴムのニオイがする場合がございますが、異常ではありません。
これはスチームコード内のゴムが熱せられて発生するもので、人体への悪影響はございません。
また、衣類にニオイが残ることもありません。このニオイは時間経過とともになくなります。
長時間使用していると、スチームコード自体からもゴムのニオイが発生しますが、器機の異常では
ありません。人体への悪影響はございません。

目次

安全上のご注意	1
各部の名前とはたらき	3
●本体パネル表示 ●スチームボタン	4
●絵表示の見かたと温度の関係	5
ご使用前に・・・	6
ご使用方法	7
●水の入れ方	7
●スチームのご使用前に	8
●スチームアイロンとして使うには	9
●使用中にスチームボイラー内の水がなくなったら	10
●パッチカルスチームを使うには ●ドライアイロンとして使うには	11
●使い終わったら ●スチームボイラーから水を抜くには	12
●コードの収納方法	13
お手入れ方法	14
●アイロン本体 ●スチームボイラー内	14
●かけ面	15
故障かなと思ったら	16

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および、物的損害の発生が想定される内容。

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がつけられています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



電源プラグをコンセントから抜く

警告



電源は、一般家庭用100V、50/60Hzを使用してください。



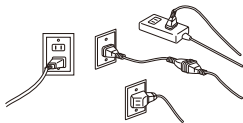
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用中を中止してください。ショートや発火する恐れがあります。



修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



- アイロンは、単独で使用してください。
- 2口コンセントの場合は片方の差し込み口を開けたままで使用してください。
- 延長コードを使用される際は、定格15Aのものに単独で使用してください。コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。やけど・感電・けがをすることがあります。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社お客様相談センターにご連絡ください。



熱いアイロンおよび、かけ面にコードを巻き付けしないでください。
ショート・発火の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。



スチームボタンを連続して速く押さないでください。
湯滴漏れによるやけどの原因になります。



使用中は決して注水口キャップを外そうとしないでください。
高圧蒸気が噴き出し、やけどの原因になります。



本製品を水もしくは他の液体に沈めないでください。
また、給水栓(蛇口)の下に置かないでください。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



給排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。



高温になる部分(かけ面など)に触れないでください。
やけどの原因になります。



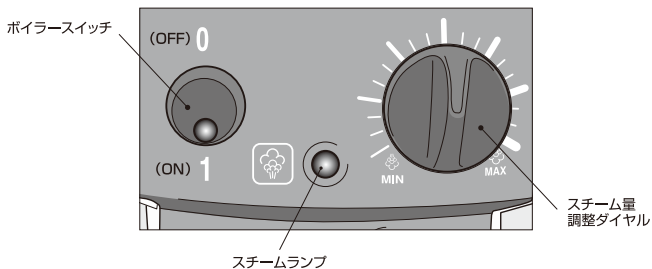
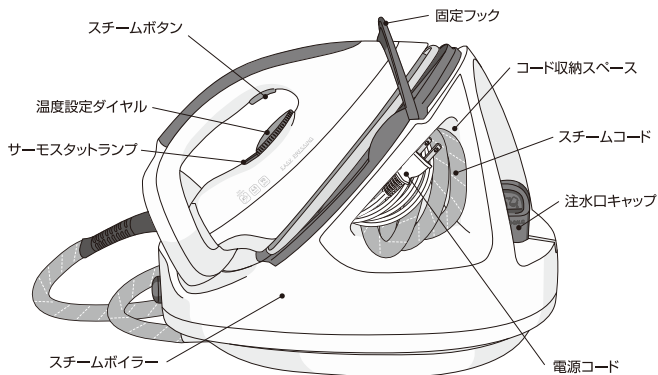
スチームに触れないでください。やけどの原因になります。

※この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。

※自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分気をつけてください。

※本製品を床に落としたり、強い衝撃を与え破損が見られる時は、使用を中止してください。正常に機能しない場合があります。

各部の名前とはたらき



※本製品は2つの安全装置を有しています。

- ・不具合発生時における過剰蒸気を放出する圧力開放弁
- ・過熱防止のための温度ヒューズ

※本製品は必ず安定した平たい場所に置いてご使用ください。

※本製品は必ず熱に強い場所に置いてご使用ください。

※アイロンをボイラースタンドに置いた際に、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

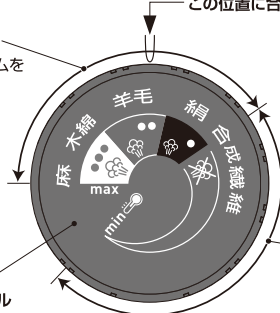
●本体パネル表示

かけ面の温度を設定します。

スチームゾーン
この間でスチームを
ご使用できます。

この位置に合わせます。

温度設定ダイヤル
温度設定ダイヤルを回し、
繊維の種類に合わせます。



ドライゾーン
この間ではドライで
ご使用ください。

※かけ面は熱くなりませんが「min」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。

● 絵表示の見かたと温度の関係 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

衣類に表示されている取り扱い絵表示（一部参考例）

絵表示	アイロンのかけ方
	あて布をして高温でかけてください。 ～線は指示温度であて布をすという意味です。
	低温でかけてください。
	アイロンかけはできません。

※ その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表（表示されているかけ面の温度はドライアイロン使用時の温度）

絵表示	繊維	温度設定 ダイヤル上の表示	かけ面の温度	スチーム量 調整ダイヤルの位置
	合成繊維	— ●	約100℃	
	絹	●	約120℃	
	羊毛	● ●	約140℃	
	木綿・麻	● ● ●	約170℃～200℃	

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく、冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。

複数の繊維が混じている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。

また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・羊毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。

※アイロンかけの前に衣類を分けておけば能率的です。



ご使用の前に・・・

- 初めてアイロンをご使用になる際、かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません。
製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。
この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。
- 初めてアイロンをご使用になる際、ごくまれにスチーム孔から白い粉が出てくることはありますが、異常ではありません。
スチームタンク内には、セラミックの表面加工が施されています。この時の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初めてのご使用の際には10回ほどスチームボタンを押してからご使用ください。
- スチームジェネレーターには、水道水をご使用ください。
軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、香水などを加えた水などはご使用にならないでください。
アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。
- 初めてアイロンをご使用になる際、また長期間スチームをご使用にならなかった際、まれにスチームが出るまで時間がかかることがあります。
その場合は、8ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、スチームボタンを10秒程度押し続けることを、3～4回繰り返すと、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。
- のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。
のりづけ(スプレーのりも含む)、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ(こげつき)だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。
そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。
- 温度設定は正確にしてください。
5ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。
複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ(こげつき)や衣類を傷める原因になります。

ご使用方法

●水の入れ方

スチームを使う場合は、スチームボイラーに水を入れます。

- ① 電源プラグがコンセントに接続していないことを確認します。

- ② 固定フックでアイロンをロックします。



- ③ 注水口キャップを反時計回りに回し、取り外します。



- ④ カップなどで給水します。給水量は最大1Lです。



※カップは付属品ではありません。

- ⑤ 給水が完了したら、注水口キャップを時計回りに回し、しっかりと締めます。



注意

- 1L以上の水を入れしないでください。
- 軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、香水などを加えた水は使用しないでください。アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。
- 注水口キャップはしっかりと締めてください。
- 電源プラグ、コードに水がかからないようにご注意ください。
- 蛇口から直接、水を入れしないでください。

※注水口キャップを落としたり、強い衝撃を与えたりした場合、変形が考えられますので弊社お客様相談センターへご連絡ください。

● スチームのご使用前に

初めてスチームをご使用になるとき、また長時間スチームをご使用にならなかったときは、下記の手順でスチーム孔と内部に付着したほこりなどを排出させてください。

- ① 水タンクに水を入れます。
(7ページの「水の入れ方」を参照してください)

- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ③ ボイラースイッチを1 (ON) にします。



- ④ スチームランプが点灯したら、温度設定ダイヤルを「木綿」もしくは「麻」にセットします。



- ⑤ スチーム量調整ダイヤルをMAXに合わせます。



- ⑥ サーモスタットランプが消えたら、固定フックをアイロンから外しアイロンを持ち上げます。



- ⑦ かけ面を下に浮かせて、2、3回スチームボタンを押してスチームを出してください。



※初めてご使用になるときは、スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、スチームボタンを10秒程度押し続けることを、1～2回繰り返してください。

※ボイラーが温まり、スチーム噴射が可能になるまで約7分かかります。スチームランプが点灯したら準備完了です。

● スチームアイロンとして使うには ●●●●●●●●●●

※初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。

- ① 水タンクに水を入れます。(7ページの「水の入れ方」を参照してください)

- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ③ ボイラースイッチを1 (ON) にします。



- ④ スチームランプが点灯したら、
温度設定ダイヤルを
任意の繊維に合わせます。



- ⑤ スチーム量調整ダイヤルを
5ページの「温度設定目安表」を
参考にして合わせてください。



- ⑥ サーモスタットランプが消えたら準備完了です。
固定フックをアイロンから外し、使用してください。



- ⑦ スチームボタンを押すとスチームが出ます。

注意 ⚠

- サーモスタットランプが点灯したら、再度消えるまで待ってください。
- 使用中の水の補給は、10ページの「使用中にスチームボイラー内の水がなくなったら」を参照してください。
- スチームランプが消えたら、再度点灯するまで待ってください。

警告 ⚠

- スチームランプ点灯中は注水口キャップを外さないでください。蒸気によりやけどをする恐れがあります。
- ボイラースイッチを0(OFF)にした後は1時間以上放置し、スチームボイラーを冷ましてください。

●使用中にスチームボイラー内の水がなくなったら ● ● ●

注意 ❶

- 注水口キャップを取り外す前に、スチームボイラー内にスチームが残っていないことを確認してください。スチームボタンを押し続け、スチームが出なくなったらスチームは残っていません。

注意 ❷

- 決してスチームがスチームボイラー内に残っている状態で、注水キャップを取り外さないでください。蒸気によりやけどをする恐れがあります。

- ① ボイラースイッチが1 (ON) の状態で、アイロンの温度設定ダイヤルを「木綿」以上にセットし、スチームボタンを押し続け、スチームが出ないことを確認します。

- ② 温度設定ダイヤルを「min」にセットします。

- ③ ボイラースイッチを0 (OFF) にします。



- ④ 電源プラグを抜きます。

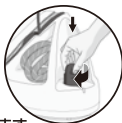
- ⑤ 注水口キャップをゆっくりと反時計回りに回し、取り外します。



- ⑥ カップ等を用い、スチームボイラー内に水を入れます。給水量は最大1Lです。



- ⑦ 注水口キャップを時計回りに回し、しっかりと締めます。



- ⑧ 電源プラグを差し込み、ボイラースイッチを1 (ON) にします。

- ⑨ スチームランプが点灯したら、温度設定ダイヤルを任意の繊維に合わせます。

- ⑩ サーモスタートランプが消えたら準備完了です。

● パーチカルスチームを使うには ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ジャケットやコートなどの衣類をハンガーにかけたまま、アイロンを立てた状態でスチームを噴射できます。

- ① 温度設定ダイヤルを「麻」に合わせます。
- ② スチーム量調整ダイヤルを「MAX」に合わせます。
- ③ スチームランプが点灯し、サーモスタットランプが消えているのを確認します。
- ④ ハンガーにかけた衣類を片手で少し伸ばすようにしながら、スチームをあてます。



注意

- 「麻」、「木綿」以外の衣類に対してパーチカルスチームを使用するときは、アイロンかけ面を衣類から少し離してご使用ください。
- 衣類を手を持ってパーチカルスチームを使用しないでください。やけどの恐れがあります。
- アイロンを立てた状態で使用する際は、特に蒸気に注意してください。決してアイロンを人や生き物に向け、スチームを噴射しないようにしてください。
- サーモスタットランプが点灯したら、再度消えてからご使用ください。

● ドライアイロンとして使うには ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② ボイラースイッチを1 (ON) にします。
※このとき、スチームランプが点灯している必要はありません。

- ③ 温度設定ダイヤルを「合成繊維」以上にセットします。



- ④ サーモスタットランプが消えたら準備完了です。固定フックをアイロンから外し、使用してください。



※水を入れなくても使えます。

●使い終わったら

- ① 温度設定ダイヤルを「min」にセットします。



- ② ボイラースイッチを0(OFF)にします。



- ③ アイロンをスタンドに置き、固定フックで固定します。



- ④ 電源プラグを抜きます。

- ⑤ スチームボイラーが冷めるのを待ちます。1時間を目安にしてください。

●スチームボイラーから水を抜くには

- ① 上の「使い終わったら」を参照し、スチームボイラーを冷ましてください。
② ボイラーに外から触れ、スチームボイラーが完全に冷めていることを確認してください。

- ③ 固定フックを外し、アイロンをボイラースタンドから外してください。



- ④ 注水口キャップを外し、ボイラースタンドのみを持ち上げながら傾け、スチームボイラーから水を抜いてください。



- ⑤ アイロンをボイラースタンドに置き固定フックで固定し、注水口キャップを締めます。



- ⑥ 電源コードとスチームコードを束ね、コード収納スペースに入れてください。

※タンクの構造上、完全に水を抜く事は出来ませんが、少量の水の残留は使用上、保管上問題ありません。

●コードの収納方法

- ① 電源コード、スチームコードそれぞれを、約15cmの長さに折り曲げます。



- ② 折り曲げた電源コードを、コード収納スペースに差し込みます。

- ③ 次に折り曲げたスチームコードを、コード収納スペースに差し込みます。



※この時、本体の右側、左側どちらからでも差し込むことができます。

※本製品を棚、押入などにしまう際、必ずアイロン本体とボイラースタンドが常温に戻っていることを確認してください。

お手入れ方法

● アイロン本体

やわらかい布で拭いてください。

がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

注意 ①

- お手入れの前には必ず電源プラグがコンセントから抜かれており、アイロンとスチームボイラーが冷えていることを確認してください。

注意 ②

- 水道水でじかに洗わないでください。

注意 ③

- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

● スチームボイラー内

お願い

- スチームボイラーの性能を維持するために、ご使用10回につき1回を目安に以下の手入れをしてください。

注意 ①

- 熱い蒸気やお湯に注意してください。
- 蛇口から直接、水を入れないでください。

- ① 電源プラグがコンセントから抜かれており、アイロンとスチームボイラーが冷えていることを確認してください。

- ② カップ等を使い、300ml程度の水をスチームボイラー内に入れ、注水キャップを締めてください。



- ③ 固定フックを外し、アイロンをボイラースタンドから移動させます。



- ④ ボイラースタンドを持ち上げ、左右に5~6回振ってください。



- ⑤ 注水口キャップを外し、スチームボイラー内の水を流して捨ててください。この作業を2~3回繰り返してください。



● かけ面

汚れが付いたときはすぐに取りてください。
そのまま放置すると、汚れが取りにくくなり布地を汚す恐れがあります。
また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。
頑固な汚れには、よく濡らしたタオルの上に、アイロンが冷めた状態でかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。

故障かなと思ったら

状 況	考えられる原因	対処方法
アイロンが熱くならない	●温度設定ダイヤルの位置が正しくない。	●温度設定ダイヤルの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
	●きちんと電源プラグが入っていない。	●電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
スチームが出ない、または十分ではない	●初めての使用。	●初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。(6ページ)
	●設定温度がスチームゾーンになっていない。	●温度設定ダイヤルをスチームゾーンにセットしてください。(4ページ)
	●スチームボイラーが空である。	●スチームボイラーに水を入れてください。
水が漏れる	●温度設定ダイヤルがドライゾーンにあるのに、スチームを使用した。	●スチームを使用するときは、温度設定ダイヤルを合成繊維以上の温度設定にしてください。(4ページ)
	●設定温度になる前にスチームボタンを使用した。	●サーモスタットランプが消えてからスチームを使用してください。
	●スチームボイラーに水を入れ過ぎた。	●水量は最大1Lまでにしてください。
	●注水口キャップをしっかり締めていない。	●注水口キャップをしっかり締めてください。
スチーム孔から茶色の液体が漏れて、布地にシミができる	●不適切な水を使用した。	●スチームボイラー内を清掃し(14ページ参照)、水道水を入れてください。(7ページ参照)
	●スチーム孔、またはアイロンのかけ面に繊維が蓄積し、こげついてしまっている。	●ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。
かけ面が汚れるあるいは茶色くなり、布地にシミができる	●布地に洗剤のりが残っている。	●のりを使用する場合は、あて布をしてください。(6ページ参照)
	●設定温度が高すぎた。	●5ページの「温度設定目安表」を参照してください。
スチーム孔から白い粉が出てきた	●スチームボイラー内の手入れをしていないため、スチームボイラー内でカルキが固まった。	●14ページの「スチームボイラー内のお手入れ方法」に従って手入れをしてください。

※修理の依頼は弊社お客様相談センターにご連絡ください。

仕様

製品名	イージープレッシング EASY PRESSING
製品番号	GV5240JO
本体色	ホワイト/パープル
電源	100V-50/60Hz
定格消費電力(アイロン、ポイラースタンド)	1500W(700W、800W)
温度ヒューズ	390℃
本体サイズ(幅×奥行×高さ)	225×380×280mm
本体重量	4kg
スチームコード長さ	1.6m
電源コード長さ	2.0m
スチームタンク容量	1L
スチーム量	60g/分
スチーム圧力	3.5気圧

※仕様、デザイン、価格は変更になることがありますのでご了承ください。 Made in France

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージズビル
修理センター：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴岡2500

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル。受付時間：月～金 10:00～17:00(土日・祝日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル。受付時間：月～金 10:00～17:00(土日・祝日を除く)

※全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※商品により部品としての取り扱いのないものがございます。